飛鳥資料館 平成26年度秋期特別展　奈良文化財研究所埋蔵文化財センター設立40周年記念

「はぎとり・きりとり・かたどり―大地にきざまれた記憶―」

遺跡の地下に眠る土層は、歴史の証人といえます。普段は目にすることができない土層を見ることができたら、何がわかるでしょうか。この秋、飛鳥資料館では、飛鳥・藤原地域の発掘調査でみつかった土層の「実物」を、一堂に会した展覧会を開催します。

遺跡の土層の表面を、薄く樹脂で固めて、布で裏打ちし、はがし取る「はぎとり」(土層転写)。これは奈良文化財研究所 埋蔵文化財センターで開発されたものです。この技術により、土層を資料として実物で保存・展示することが可能となりました。土層からよみとれる、飛鳥時代の造営事業や人々の営みの痕跡。その規模の大きさ、美しさ、多様さをご堪能いただければと思います。

(飛鳥資料館　西田 紀子)

会　　期：2014年10月10日(金)～11月30日(日)会期中無休
開 館 時 間：9：00～16：30(入館は16：00まで)
記 念 講 演 会：11月1日(土)14：00～　澤田正昭氏(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター長)
「もうひとつの遺跡保存―土層転写と遺構切り取り―」
ギャラリートーク：10月10日(金)、11月22日(土)　各日10：30～、14：00～
ホームページ：http://www.nabunken.go.jp/asuka/　お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

平城宮跡資料館 平成26年度秋期特別展

「地下の正倉院展―木簡を科学する―」／「埋蔵文化財センターの40年」

平城宮跡資料館では、2007年より秋期特別展「地下の正倉院展」を開催し、平城宮・京出土木簡の実物展示をおこなってきました。本年は、「木簡を科学する」と題し、木簡の樹種や木取り、科学的調査や保存処理の方法等に注目します。木簡という遺物を、考古遺物や木製品という側面からご紹介し、研究の将来的な姿にも迫ります。

なお、本年は奈良文化財研究所 埋蔵文化財センターの設立40周年にもあたります。今回は地下の正倉院展と同時開催で、埋文センターのこれまでの歩みや各研究室の最新の研究成果等を写真パネルにてご紹介します。こちらもあわせてぜひご覧ください。

(都城発掘調査部　山本 祥隆／企画調整部　中村 玲)

会　　期：2014年10月18日(土)～11月30日(日)月曜休館(月曜祝日の場合は翌日休館。ただし、11月4日は開館)
(Ⅰ期)10月18日(土)～10月31日(金)　(Ⅱ期)11月1日(土)～11月16日(日)　(Ⅲ期)11月18日(火)～11月30日(日)
開 館 時 間：9：00～16：30(入館は16：00まで)
ギャラリートーク：(Ⅰ期)10月24日(金)、(Ⅱ期)11月7日(金)、(Ⅲ期)11月21日(金)　各回14：30～
ホームページ：http//www.nabunken.go.jp/heijo/museum/　お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)

■　お知らせ

飛鳥資料館秋期特別展
2014年10月10日(金)～11月30日(日)
「はぎとり・きりとり・かたどり―大地にきざまれた記憶―」

平城宮跡資料館秋期特別展
2014年10月18日(土)～11月30日(日)
「地下の正倉院展―木簡を科学する―」
「埋蔵文化財センターの40年」

第115回公開講演会
2014年10月4日(土)　於：平城宮跡資料館

特別講演会(東京会場)
2014年10月25日(土)　於：有楽町朝日ホール

■　記　録

文化財担当者研修
○庭園自然名勝等保存活用基礎課程
2014年6月23日～27日　19名
○報告書作成Ⅰ(編集基礎)課程
2014年7月7日～11日　15名
○報告書作成Ⅱ(応用制作)課程
2014年7月14日～18日　9名
○自然科学的年代測定課程
2014年9月1日～5日　5名
○文化的景観調査計画課程
2014年9月8日～12日　12名

平城宮跡資料館夏期企画展
2014年7月12日～9月21日
「平城京ビックリはくらんかい―奈良の都のナンバーワン―」
17,712名

飛鳥資料館夏期企画展
2014年7月25日～9月7日
第5回写真コンテスト「飛鳥の甍」　3,505名

■　最近の本

○奈良文化財研究所 編
『〈歴史の証人〉木簡を究める』
㈱クバプロ　2014年8月

編集　「奈文研ニュース」編集委員会
発行　奈良文化財研究所　http://www.nabunken.go.jp/
Eメール　jimu@nabunken.go.jp
発行年月　2014年9月